

明照保育園  
連絡はこちらへ  
TEL...0182-32-7388  
HP・FB随時更新中  
2022年11月1日発行

「心に寄り添って難しい」

最近、反省していることがあります。もっと子どもに寄り添えばよかったんだと。

9月のことですが、我が家では子どもたちと妻が発案し、初めてゴールデンハムスターを飼いました。左の茶色と白の方が「ちくわ」、右の黒と白の方が「オレオ」とのこと、子どもたちは嬉しそうに世話をしたり、ケージの中だけだとストレスになるからと1日1回は部屋の中に出て遊ばせたりしながら可愛がっていました。



飼ってから1ヶ月も経たないある晩のこと、私はいなかったんですが帰ると泣きながら悲しむ子どもたちの様子。ちくわが行方不明になりました。特に次女(小2)の落ち込みようはひどく、ずっと泣きじゃくり、ご飯も進まない。私としては段タイライラしてきます。これまで、私も子どもの頃からシマリスやハムスター、猫に犬、ザリガニ、金魚など、それなりに動物を飼ってきた経験がありましたし、生きていれば色々な大変なことって皆さんも経験してるじゃないですか。だから私の思いとしては、「ハムスター1匹くらいのことです、いつまでもメソメソすんなよ!」って気持ちだったんです。こんな思いでしたから、私は軽い言葉で「いつか帰ってくるよ」と言うくらいで、その場を収めていたんです。その言葉で、すぐに納得できるわけもなく、家の周りを探しに行ったり、餌を置いたり心配する日々が続きましたが、次第に少しずつ受け入れていったのか、目に見えた心配する行動もなくなってきました。

そんな期間に仏壇の前の机に置かれた付箋を見つけたんです。鉛筆で書かれたメッセージには「ちくわをかえしてください」と一言。小2の心としては、どうしても帰ってきてほしい、仏様に命令口調するほどのすがる思いだったんだと改めて感じたんです。大人は経験豊富な分、ある意味、図太く少々なこと立ち止まったりひどく落ち込んだりはしなくなっていくのかもしれませんが、子どもはそうではないですね。うちの子としては初めて飼ったペットが居なくなった(多分どこかで死んでしまった)という喪失感。その心に、どうして悲しいよな〜と寄り添えなかったんだらう、もっと一緒に悲しむべきだったな〜と反省をしているということです。

皆さんのご家庭でも子どもが悲しむような体験をする機会が訪れるかもしれません。当たり前のことですが、悲しむ以外でも驚きや嬉しさといった初めての気づきがたくさんあるはず。私の失敗を参考に、ぜひ子ども初めての心に寄り添っていただければ有り難いです。

今年もできたことがあれば、まだできてないこともありながらも時は進み、あっという間に残すところあと2ヶ月となりました。日本人は反省が先になりがちですが、私のできたことも発表しましょう!

昨年、コロナ禍で縁遠くなっているお寺に行くことやお墓参り、待ってるだけじゃだめ、自分たちから出掛けて悩み聞きませんかと色々な宗派のお寺や神社、教会、墓石業者に声を掛け誕生させたチーム「こころ応援ヒーローズ」の自主イベントが10月29日に十文字のスーパーモールラッキーさんの店内をお借りし開催することができました。当日は、相談コーナーあり、色々な宗教の衣装を着て店内パレードしたり、仏教の地獄の紙芝居や横手マリア園の園長先生によるキリスト教のクリスマスの読み聞かせや英語交流、うちの保育園や学童でも実施したことがあるメッセージが書けるお手紙線香ワークショップと盛りだくさんな内容でした。正直にいえば、集客は少なかったですし、相談にのりますよと声を掛けてもなかなか席に座ってもらうまではいかず、「統一教会じゃないだろうな、だいきらい!」と言われたり、近寄りたいたい雰囲気もあつただろうと思います。傾聴する、心に寄り添うということの難しさを実感し課題もあつたわけですが、初めて自分たちで企画してできた喜びが大きな収穫でした。



私は人にあやかる、迷惑をかけるタイプ人間なんだと思います。こちらの事業に関しても、地域に出掛けて悩み事の相談はしたいけど、自分だけでは力不足。寄せられた相談に対して、それはこちらの宗派、それは教会さん、七五三のことは神社さん、お墓のメンテナンスのことは業者さんなど、連携しあって総合的に対応したいというコンセプト。私の基本はどこでもおなじで、保育園では3園合同発表会、学童では曹洞宗さんをお願いしている座禅教室など、自分でできないこと、盛り上がり足りないことは、周りに協力してもらい実現することができています。

皆さんもできることを1つずつ実現していきましょう。今年中にしたいことはまだまだあります。家中の部屋を整理したい、粗大ごみをクリーンプラザに山ほど持っていきたい。コロナ禍以降、帰れていない妻を東京に行かせてやりたい、できれば数日でも子どもより先に帰ってやりたい。

残り2ヶ月、時間がないと嘆くこともできますが、「あれもこれも…」としたいことが次々に浮かんでくるということは時間があり、夢があるから言えること。10代、20代の夢多き若者が亡くなることもある。この世は理不尽なことが起こります。家族との思い出も、目の前の心に寄り添うことも、1つ1つ大事にしていかなければと思います。(園長 津村 侑弥)

1 ひよこ組

心地よい音楽や手遊びに触れ、模倣したり、身体を揺らしたりして楽しむ

3 もも組

心地よい音楽やリズムに合わせて、表現遊びの楽しさを友達と共有する

2 りす組

リズム表現遊びの中で、身体を動かすことや言葉のやりとりを楽しむ

今月の保育目標

4 ひまわり組

音楽やリズムに合わせて、友達とイメージを共有しながら、のびのびと表現を楽しむ

2 うさぎ組

リズム表現遊びの中で、歌ったり、踊ったりを友達と一緒に楽しむ

5 さくら組

友達と共通の目的をもち、音楽やリズムに合わせての表現遊びに取り組み、存分に楽しむ。

今月の行事

4日(金) 詩吟勉強会(さくら組) 11:00~11:30	17日(木) 昔語り 11:00~11:30
9日(水) 避難訓練 強度の地震 10:00~10:30	22日(火) 身体測定
15日(火) 交通安全指導 安全な遊び場を知る 10:00~10:30	10日(木)~12日(土) 3歳未満児組 ふれあい発表会 24日(木)~26日(土) 3歳以上児組 ふれあい発表会 ※ プログラムは後日お渡しします。
16日(水) 誕生会 職員ミーティング 10:00~10:40 13:00~14:00	・看護実習 7日(月)~9日(水) 今年度最終のグループです
・職員の研修等	
11/2(水) 教頭・主任等研修会Ⅱ オンライン	11/17(木) 5年経験者研修会Ⅲ 湯上市
11/7(月) すくすくネットワーク研修会 横手市	11/29(火) 市保研・保育士会合同研修会 横手市

「ふれあい発表会」について

★3歳未満児(11月 第2週)

- ・10日(木)…ひよこ組 10:00~11:00
- ・11日(金)…りす組 10:00~11:00
- ・12日(土)…うさぎ組 10:00~11:00

★3歳以上児(11月 第4週)

- ・24日(木)…もも組 9:30~11:00
- ・25日(金)…ひまわり組 9:30~11:00
- ・26日(土)…さくら組 9:00~11:20

新型コロナウイルスの感染がまだ安心できる状況とは言えないことから、今年度も十分な感染対策を取りながら1クラスごとの開催とし、観覧される方も1家族2名とさせていただきます。(後日、参加者を記入していただくお手紙を配布します。)

発表と遊びから、お子さんの成長した姿や、普段の園生活の様子などをご覧いただけたらと思います。発表後は、グループに分かれて保護者の方々と一緒に記念撮影をします。(担任がご案内します) 親子で楽しいひとときをお過ごしください。

りす組(1歳児)  
2歳になります!

ちゃん  
ちゃん

うさぎ組(2歳児)  
3歳になります!

ちゃん  
ちゃん  
ちゃん

もも組(3歳児)  
4歳になります!

さん  
さん

ひまわり組(4歳児)  
5歳になります!

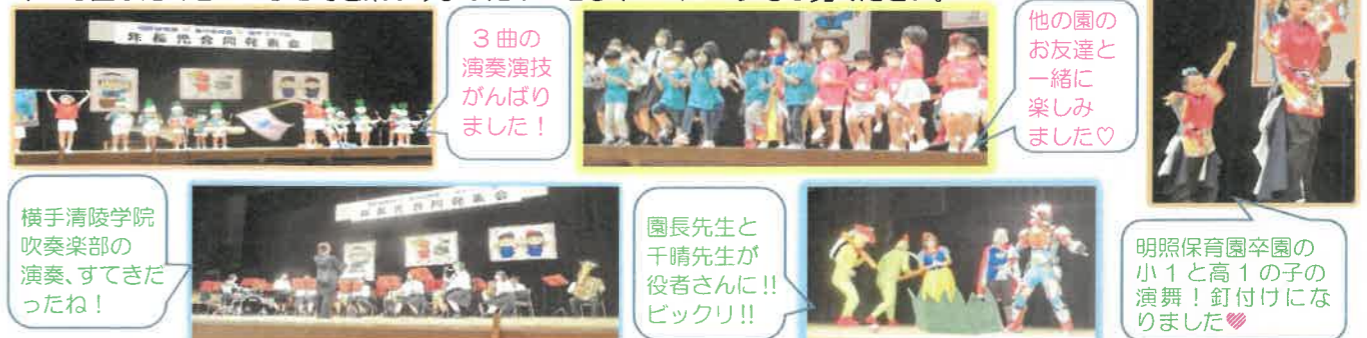
さん  
さん  
さん  
さん

さくら組(5歳児)  
6歳になります!

さん  
さん  
さん

明照保育園×金沢保育園×横手マリア園 合同発表会

10/1(土)、横手市民会館の広いステージで、マーチングと歌をおうちの方々の前で披露することができました!また他の保育園のお友達の発表や横手清陵学院吹奏楽部さんの演奏、よさこいジュニアサークル『横舞伝』の凛とした演舞、そして特別ゲストのご当地ヒーロー「超輝神(ちょうきしん) シャイニングー」がやってきて横手の平和を守ってくれるなど、楽しさ盛りだくさんのひとときを楽しみました! ぜひホームページもご覧ください。



あしらせ  
・育児休暇中だった、先生が1日より職場復帰します。  
・先生が、12月上旬より産休に入ります。  
先生には、主に3歳以上児組のフリーとして保育にあたってもらい、先生との産休に合わせ、もも組(3歳児クラス)を担当してもらいます。2人とも、保護者さんと同じく育児に奮闘中です!! どうぞよろしくお願いいたします。